

一般病棟における新型コロナウイルス感染について

1月25日に当院から柳橋分院に転院した患者様1名が、転院直後に発熱を来したため、個室管理としPCR検査を施行したところ、26日に陽性と判明しました。

この患者様は、当院に緊急入院後のPCR検査は陰性で、入院中は発熱などの症状はありませんでした。感染の広がりを調べるために、転院前の病棟で同じ病室にいらした患者様のPCR検査を行いましたところ、1名の感染が確認されました。翌27日に、同病棟の患者様と看護師全員、同病棟に関わる医師、薬剤師、リハビリスタッフ、事務員など計93名に緊急でPCR検査を行いました。他に感染者は認められませんでした。現時点で感染経路は不明ですが、同じ病室にいらした患者様のうちどちらかお一人、もしくはお二人が院内で感染した可能性が高いと判断しております。感染した患者様お二人は、当院の感染者専用病棟に転床していただき、注意深く経過を診てまいります。

上記結果を受けて当院では、当該病棟の新規入院を一時的に制限いたしますが、それ以外の外来、検査、入院、手術などは予定を変更することなく実施することといたします。

ウィルスの院内への流入を防止するため、入院患者様全員のPCR検査を含む感染防止策を継続するとともに、入院患者様のモニタリング、職員の自己管理をより一層徹底し、安全な医療の提供を心がけてまいります。

令和3年1月28日
永寿総合病院院長
愛甲 聡